



新緑の季節。園庭の木々はぐんと大きくなり、葉っぱの色にも深みが出てきました。多年草のムスカリやスイセンの球根から小さな芽が出、可愛い花が咲くことを楽しみにしていました。ある日、新しいぶきぐみの子どもたちのレストランごっこに招待してもらい席に着くと、テーブルの上のお皿やカップの中いっぱい「かわいいぶどうみつけたの〜」と嬉しそうに見せてくれ、見事にままごとの具材になっていました。「おいしそうだけどもう少し待っていたらかわいいお花になったんだよ。」と説明をしました。美味しい葡萄は小さなつぼみだったことがわかり、一年春を待ち続けていただろうちいさなつぼみに皆で「ごめんね〜」と声を掛けました。つぼみ組から幼児クラスになり、子どもたちで遊びを展開していく毎日が始まりました。毎日遊びながら園庭での遊び方や道具の使い方など、模倣したり、それぞれ上のお兄さん・お姉さんから教えてもらいルールを知っていきます。花のつぼみをいとおしく思える日も間近でしょうか。

経験の中で今までできなかったことが子どもたちだけで進められたり、反対に手伝ってもらっていたことを「自分でやってみる」に変わっていきます。そしてだいちさんになると「かえでのお仕事」に大忙しになります。朝・昼・夕方にはそれぞれ栽培をしている草木にたっぷりとお水を上げたり、春に植えたじゃがいもに「ずんずんずん・ずんずんずん・どんどこどん・どんどこどん」とおまじないをかけたり、食事の後にはカメのお世話等様々な動植物のお世話を習得していきます。もっともっと大切に作る心が育っていきます。その瞬間が楽しみです。

じゃがいも畑



春を待って咲くムスカリ

かえで保育園の栽培は春になったら花を育てる・野菜の苗を植えるという栽培ではありません。種に興味を持つ子は種コレクションから園庭の様々なところに種の植え付けをしていきます。水につけたり、皮をむいたりしながらどうすると芽が出るかを自ら体験の中で「こうしたい」「こうすればいいんだ」と納得して進めていきます。大人が用意した実のなる植物の実が育ち食べるということではなく、子どもがやりたくて果物や野菜などの種や実の様々な不思議に興味を持ち、自ら育てたいという気持ちが芽生えます。発芽して芽が伸びて育っていく様子を毎日嬉しそうに見ていきます。そしてやがてしっかり根付いていたり、葉っぱの変化を観察したりしながら様々な事象やいろんな違いに気づきます。時にはうまくいかずがっかりしたり、植える時期とお世話がうまくいくとどンドン成長し、収穫まで持っていけるとうれしく達成感を味わえます。今年の幼児クラスは「育てたい」と思うものがたくさん出てきました。園庭が野菜や果物であふれてほしいと願いながら保育を計画していきます。ご家庭で食されるものの「種」は取っておいていただけると嬉しいです。

～ダンディ・タイム かえでカフェの同時開催～

5月28日(土) 15:00～16:30

園庭整備・花壇の手入れ・絵本修理等・・・

お待たせしました。随分お休みしていましたが、少しずつ復活していきたいと思います。少しの時間ですが皆さんでお仕事しながら再開を楽しみたいと思います。初めての方も大歓迎です。卒園の保護者の方もどうぞいらしてください。

園庭には今年も風をはらんで、鯉のぼりが気持ちよく泳ぎながら、かえでの子どもたちのことを見守ってくれています。入園したばかりの子どもたちは保護者の方と朝、別れるとき泣いていることも多く、後ろ髪を引かれながら園を出ることも多かったと思いますが、子どもたちは保育者に抱かれたり、お気に入りのおもちゃや場所を見つけ遊ぶ中でかわいい笑顔を見せてくれるようになりました。

かえで保育園ではコロナ禍で計画が進まなかったイベントがいくつかあります。

ここでご紹介させていただきます。

1つ目は「保育体験」

午前中、保育園にお越し頂き保育に参加して頂きます。保護者の方の一番のお楽しみは園のお昼ご飯を食べることです。「このメニューが食べたい」とリクエストが頂くこともありました。その後は担任と短時間での懇談。終了後は共に親子で降園頂き、ゆっくりとした時間を過ごしていただいていたいました。

2つ目は敬老週間



おじいちゃんやおばあちゃんにお越しいただき、3時のおやつをお孫さんと食べていただいた後、子どもたちと保育室で遊んだり、昔遊びやこま回しを教えてもらったりしていました。1年に一度の楽しみとして遠方からお越しの方やひいおばあちゃんまで参加していただくこともありました。

3つ目は酒蔵見学

辰馬本家酒造のご厚意によりお酒が造られるまでの過程を見学していきます。保護者の方と祖父母が参加でき、白鹿の博物館・酒蔵や工場内の見学をします。幼児クラスの子もたちと共に参加していただいた後、大人だけのお楽しみとして、酒蔵内でしか飲めない日本酒が試飲できます。前章夫理事長のお酒博士のお話は子どもも保護者の方も楽しみにしています。かえで保育園ならではの伝統行事です。



このようなかえで保育園の歴史を作ってきた行事を毎年のように楽しみにして下さっていた方も多くいらっしゃいました。

これから先、新たな内容としていつか再開できるよう行事の計画を考えていきたいと思います。どうぞお楽しみに！！

主幹保育教諭 藤森 寿美

新入園児さんにとっては園での初めての1ヶ月、そして保護者の方々にとっても新しいこと盛りだくさんの1ヶ月であったことと思います。

進級されたお子さまも、新しい友だちとの出会いや、新たな部屋での生活に少しずつ慣れ、それぞれの楽しみを見つけています。

幼児クラスではお昼ごはんの後、階段を登り自らお昼寝に向かう後ろ姿を「大きくなったなあ…」と職員皆で見守っていました。

暖かくなった園庭に出ると、“待ってました！”と言わんばかりに駆け出す子どもたちもいれば、時間をかけて花の色水をつくり、そっと透明のコップに注いで「ふっふっ」と嬉しそうに眺めている子もいます。

園庭に足を踏み入れた瞬間に、それぞれの心がときめくところへ向かっているのかもしれないね。

かえで保育園での子どもたちの“暮らし”の場所が、心地よい居場所になればと思っています。

新しい環境の中でも、ほんの1ヶ月の間に安心できる保育者を見つけ、過ごしたいと思える場所に気が付き、心の落ち着く時間が少しずつ増えています。5月の終わりにはどのような姿を見せてくれるでしょうか。楽しみですね。

「いやだ」も「やってみたい」も「あっちいく」も、自分の気持ちを表情や動作で伝えてくれることは、大切な一歩だと感じ見つめています。

“お迎えを待つ場所”ではなく、子どもたちが心を育む場所として、子どもたちの心が動いた瞬間をこれからもお届けしていきます。

主幹保育教諭 河本彩奈

～先生のメッセージ～

部屋の片づけをしていると、最近読んでいなかった漫画がでてきました。本屋さんのレジへ向かう途中にふと目に入って買った漫画“てい先生”。てい先生は最近メディアや本、youtubeなど様々なところで見かけるようになり知ってらっしゃる方も多いかと思います。昔に買った漫画ですが読み返すと保育園であった子どもたちとのエピソードが描かれており、可愛いなときゅんとしたり、面白くて笑えたり…。思わず片付けの手を止めて読み進めてしまいました。

自分の子どもが通っている保育園の先生から園であったことを聞くのは家とは違った姿を見られるようで楽しく感じます。以前1歳児クラスの娘は女の子のお友達と滑り台の上に座り女子会を開いていたそうです。楽しそうと思いつつも先生が「他のおともだちも遊びたいから…」と解散させると、みんなそれぞれに滑り台を降りたものの次は滑り台の下のスペースで集まってもう一度女子会が始まったと教えてくれました。話を聞くとその光景を想像してくすと笑ってしまいます。

私も保育園で過ごすお子様たちとのエピソードを保護者の方にたくさんお伝えしたいなと改めて感じました。また子育てしていて嬉しかったことや面白かった何気ない日常も忘れてしまわないように記録していきたいなと思います。

てい先生は子育てに役立つようなこともたくさん発信しているので興味があれば検索してみてください。

福井 真裕子



～めばえぐみ～

ねらい：一人一人の様子に合わせながら、環境に慣れ、心地よく過ごす

うた：「ちゅうりっぷ」「こいのぼり」「ちょうちょ」「うえからしたから」「ジージーバー」

新年度がスタートして、早くも一ヶ月が経ちました。初めての保育園生活に、戸惑い、緊張してしまう子どもたちでしたが、新しい環境に少しずつ慣れ、子どもたちの笑顔も増えたように感じます。天気のいい日は園庭やテラスで外気浴を楽しみ、色鮮やかな草花や裸足で土の感触を体験するなど自然に触れて過ごしています。

～はじめてのさんぽ～

4人乗りのバギーに乗って、隣にある住宅展示場の周りを散歩しました。はじめは、どこに行くのかなあと少し不安そうな子どもたちでしたが、だんだんバギーにも慣れて、外の風を気持ちよさそうに感じたり、揺られてウトウトと眠ってしまったり、それぞれがたのしめました。

保育園を出るとたくさんの自動車や自転車が通っています。大きなバスが走っていると、興味深々な様子でバスを目で追いかけていました。住宅展示場には、大きな犬の置物があり、「わんわんだね」と保育者が声を掛けると犬を指さしたり、「あーうー」と言いながらじーっと見ていました。また途中ですれ違う人に「かわいいね～」「おさんぽ、よかったね～」と声を掛けられ、ニコニコと笑顔を見せたり、覚えてのバイバイをしたりしながら散歩に出かけ、様々な「人」と出会う体験ができました。



～お気に入りのおもちゃ～

お部屋では棚に置いてある玩具を取ろうと一生懸命にハイハイしたりつかまり立ちをして手を伸ばしています。お友達が遊んでいる所を見ると自分も欲しくなり「いいものみつけた!」という得意な顔をしながら玩具を探しに行きます。また、寝転びながら遊んでいる時には「アー、うー」などたくさんおしゃべりをしながら遊んでいます。隣に居るお友達とお話をしているようにも聞こえて可愛いです。

4月に入ってすぐはお部屋にある玩具には目もくれず泣いていましたが毎日の生活の中で、少しずつ部屋や先生に慣れそのお子様のペースで過ごせるようになりました。これからも保育園でたくさん楽しく過ごしていろんなことを「見つけた!」と各々のたのしみを広げていってほしいと思います。



“担任の思い”

少しずつ慣れてきて子どもたちも活発に自分たちでおもちゃを探していくようになり、毎日成長していく姿を見ることが出来、嬉しく思います。忙しい中、慣らし保育のご協力もありがとうございました。保育園での生活リズムも安定してくるようになり遊び・食事・睡眠とゆったりと過ごせるようになってきました。

5月はお友達や先生やお部屋に慣れたたくさんの物に触れて楽しいと感じてもらえるように過ごしていきたいと思っています。子ども一人ひとりと丁寧に関わっていきながら育てていく姿を見守っていききたいと思います。また、新しい環境ですごしてきたので、ほっとすると体調を崩しやすいです。子どもたちの体調の変化に気付きながらゆったりと保育していきます。

宝田 聖美 小坂橋 円香 峰 夏音

～ふたばぐみ～

ねらい：「保育園生活に慣れ、安心して楽しく過ごす」

うた：「さんぽ、おもちゃのちゃちゃちゃ」わらべうた：「ととけっこう、イッスンボウシ」

進級・入園を祝うかのように、めばえ組から育てていたチューリップも綺麗な花を咲かせてくれました。新しいお部屋に移り、新しく6人のお友達を迎えて15人での生活が始まってから、1ヶ月が経ちました。新入園児さんたちもここにこっこ笑って過ごしている時間が増え、進級した子どもたちも少しずつふたば組としての生活に慣れてきました。新しいお友達も加わったふたば組15人での園生活を安心して過ごして欲しいと思います。



“フレイフレー”

ぽかぽかと日差しが気持ちの良い季節になりました。子ども達も気持ちの良いお天気の園庭で遊ぶことが楽しいようで、毎日たくさん身体を動かして遊んでいます。

そんなある日、「せんせーみて」と声を掛けられ、ついて行くと亀の様子をじっと見ている子ども達の姿がありました。子ども達が真剣に見つめる先では、亀が一生懸命階段を登っていました。その様子を見ながら「かめしゃん、がんばれー」と応援する子ども達。その日から亀の様子を見に行くことが日課になっています。亀の様子をじっと見るだけでなく、「がんばれ」と応援する姿や子ども達の優しい気持ちに私たちも嬉しくなりました。少しずつ話す言葉が増え、自分の気持ちや不思議に思ったこと、見つけたことなどを伝えてくれるようになってきました。今回の出来事のように、子ども達の「つぶやき」を大切に見守っていきたいと思います。



“お気に入りの場所”



園庭の松の木の下に白鹿さんより頂いた大きな木のオケがあります。中には砂や葉っぱ、幼児クラスのお兄さんやお姉さんたちが遊んでいたスコップなどが入り、子どもたちは毎日“今日は何があるかな？”と中を覗いています。おけの傍に行くと保育者に「はい、はい」と声を掛け両手を広げて抱っこを求めます。中に入ると砂をせっせと外に出したり、スコップや大きな葉っぱ、ダンゴムシなどを「みてみて」と保育者に見せてくれます。

他にも、ピオトープを覗きこみオタマジャクシの様子を観察したり、触れてみようとして手を入れてみたり…。毎日園庭で出会う生き物や自然物、そしてふたば組以外のお友達とも触れ合う中で自分のお気に入りの場所を見つけているようです。今のふたば組のお気に入りは、木のおけとピオトープ。これからどんどん楽しいことを見つけて、子ども達の遊びが広がり、お気に入りの場所がたくさん増えていくことを楽しみにしています。



“担任の思い”

新しい友達、新しい部屋、たくさんの初めてに出会うことの多かった4月でしたが、少しずつ“ふたば組”での生活に慣れてきた子ども達。かえで保育園が安心できる場所になるように一人一人とゆったりと関わっていきたく思います。そして様々なことにチャレンジし、たくさんの不思議や初めてに出会う中でそれぞれが夢中になって取り組める遊びを一緒に見つけていきたいです。子ども達の「やりたい」を大切に毎日を過ごしていきたく思います。

～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちと一緒にあそぶことを楽しむ」

うた： こどりのうた・おつかいありさん・いちご・きゃべつのなかから

3月末、ドキドキしながら階段を上っていた子どもたちですが、もうすっかりつぼみ組のお部屋に慣れ「おへやいこうか！」「手すりもってね」と片手に荷物、片手で手すりをしっかりと握りしめ勇ましくお部屋を目指しています。お部屋では、絵本や電車、おままごと、パズル…それぞれ好きなものを見つけ楽しく過ごしています。特に絵本コーナーが大人気で、「よんでもいいですか～？」と保育者になりきって絵本を見せ合ったり、一緒に「ぱんだなりきりたいそう」のポーズを真似したり、お友達同士での関りも増えてきています。とてもかわいらしい姿が見られますので、「ひこうき」「ばなな」「チューリップ」のポーズをぜひご家庭でも訪ねてみてください。



“待ちに待った体操の日”

ふたば組の時から、隙を見ては参加していた念願の体操が始まりました。はじめは緊張し、固まって様子をうかがう姿もありましたが、時間が経つにつれ“あっ、たのしそう…”と保育者のそばを離れ、自らサーキットに挑戦していました。



た。平均台をお尻ですりすり進んだり、跳び箱から勢いよくジャンプしたり、沢山体を動かして楽しみました。最近では、園庭においてある鉄棒への興味も出てきて

おり、両足を浮かせて長時間ぶら下がったり、片足をあげて棒に引っかけようと頑張っています。隣でお友達や幼児のお姉さんたちが回っている姿を見ると「〇〇もしたい！」と憧れをもって取り組む姿も見られます。難しいことにも継続して挑戦している姿に成長を感じました。

木曜日、朝の集まりで「今日は何の日でしょう？」と尋ねると、元気いっぱい「たいそう！！」教えてくれる子どもたち。少し大きな体操服を身にまとったつぼみさんの姿も楽しみにしています。

“春の自然を探しに行こう”

八重桜がきれいに咲くころ、みんなで東三公園へお散歩に出かけました。今回はひかり組のお兄さん・お姉さんも数人一緒についてきてくれました。お友達やお姉さんたちとしっかりと手をつなぎ、無事に公園に到着すると、桜だけでなくネモフィラやガーベラ、他にも素敵なお花がたくさん咲いていました。



シロツメクサを指輪や花冠にしておしゃれをしてみたり、桜の花びらを拾ってみたい、春ならではの自然をたくさん体験しました。

今年の保育テーマ「きらっと！彩り豊かに咲かせよう」にちなみ、お部屋には拾ってきたお花や、園庭に咲いていたフリーズアが飾ってあります。「このお花のお名前はなんだろう？」と、子どもたちと一緒に季節のお花を知り、感じて触れ合っていきたいと思います。

“担任の思い”

去年の10周年式典前にさなぎになった青虫が冬を越し、4月中旬きれいなアゲハ蝶になって飛び立ちました。園庭にちょうちょがやってくると「ちょうちょさん、またほいくえんにきたのかな？」「つかまえたいの！」と幼児さんの見様見真似で虫網を持ち、畑や築山を一生懸命追いかけています。最近ではミニ図鑑を首からかけて「これ、ちょうちょいっしょよ」「かえるいたね」「さくらあったね」と、園庭やお散歩で実際に会ったものを図鑑と見比べ、嬉しそうに教えてくれます。気になることがどんどん増え、沢山のことに興味津々の子どもたち。これからの1年間、子どもたちがどんなものを見つけて、興味を持ち、深めていくのか、一緒に過ごせる毎日が楽しみです。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

～いぶきぐみ～

ねらい：「友達と一緒に遊びを楽しむ」「園庭の生き物や草花に興味を持つ」

うた：「園歌」「こいのぼり」

新しい生活が始まって1ヶ月が過ぎ、「いぶきさん」と呼ばれることにもすっかり慣れてきた子ども達です。室内では自分の好きな遊びを見つけると友達と楽しんで取り組んでいます。又、園庭では虫探しや色水作り、じゃぶじゃぶ池での水遊び等が盛り上がっています。日々を過ごす中で異年齢での関わりも増え、同じ部屋にいる年上のお兄さんお姉さんに一緒に遊んでもらうことやお世話をしてもらうことを喜んで過ごしています。

～はるがきたんだ！～

暖かくなり、園庭ではダンゴムシ探しが盛り上がる季節になりました。子ども達はカップを手にし、友達と植木鉢の下や花壇に隠れているダンゴムシを探しています。又、アゲハチョウが飛んでいると「かえてきたんだ！」と昨年育てた幼虫を思い出して喜んでいます。そんなある日、ある子がダンゴムシではなく



別の春の生き物に出会いました。それは、あまがえるです。あまがえるを見つけるとすぐに「さわってみたい！」と手に取ります。そして優しく手のひらで触れてみると、今度は育てたい！という気持ちに変化して、虫カゴにお家作りをすることになりました。あまがえるが好きなものはなんだろう？と考えながら試行錯誤して作り上げたお家には、自分のお気に入りの貝殻やアジサイの葉っぱを入れていました。



あまがえるを捕まえたことを知った友達がどんどん周りに集まってくると、「どこでみつけたの？」「さわらしてほしいな」と興味津々の様子で、「いいよ」「やさしくね」と会話のやり取りを楽しんでいました。また、図鑑を持ってきてカエルの種類を調べようとする子もいました。幼児の部屋ではあまがえるの育て方を調べましたが、あまがえるは飼育が難しく餌も限られていることを知り、夕方にお別れしようという話し合いになりましたが、そのあまがえるにはみんなで名前を考え「みっきー」と



名付けて可愛がりました。再び園庭ではあまがえるを虫カゴに入れて観察や触れ合いを楽しみ、ピクニックごっこでは「みっきーもごはんたべる？」と食卓に招いてあげていました。そして最後はバイバイと、元の居た場所にあまがえるを優しく逃してあげるいぶきさんでした。



“担任の思い”

いぶき組になり生活の流れや環境が変わった子ども達ですが、自分のことは自分でしようとする姿が見られています。先日には初めての絵画遊びがありました。何が始まるのかなとドキドキとワクワクでいっぱい表情で絵画の先生の話聞き、クレパスを手にすると模造紙に好きな絵を思い切りのびのびと描いていました。「これはきょうりゅうでね、はがたくさんあるんだ」「これはままでね、これはわたしなんだ」と自分の絵について話してくれました。これからも新しいことに挑戦し、様々な経験を通して自分の思いを表現することを楽しんでくれたと思います。

小城 美紗

ひかりぐみ～

*ねらい：自由に表現すること、身体を動かすことを楽しむ。

うた：『こいのぼり』『ドロップスのうた』『せいくらべ』

いよいよ1つ新しいクラスでの生活が始まりました。「もうひかりさんになったから」とやってみたく、調べてみたいことを、毎日目を輝かせながら教えてくれます。縄跳びや逆上がりなど、だいち組がしていることに憧れをもったり、いぶき組とダンゴムシ探しや色水作りを一緒にしたり年齢関係なく過ごすことで、様々なことから遊びが広がり挑戦しようとする姿も見られます。彩りある自然や風の心地よさから、春だからこそ感じる遊びを存分に楽しんでいきたいです。

“春だね”

「今日はお日様が出て、暖かい」「ぼかぼかして、いい気持ちだね～」と暖かい春を肌で感じ、嬉しそうなお子たちです。暖かさにつられ「待ってました」というように春の生き物たちが草木から顔を覗かせています。ダンゴムシやてんとう虫を見つけ、手の



平に乗せて嬉しそうに教えてくれます。「みてみて！見つけたよ！」の声を合図に「なに見つけたの？」と自然と子ども達で輪ができ観察が始まります。しばらくすると「確か図鑑にあったはず…」「これと一緒にじゃない？」と忙しそうに走って図鑑を取りに行き、話し合いながら一緒に調べています。「小さいね」とピオトープにいるオタマジャクシの手足の動きをじっと見つめたり、「もう朝だよ、おはよ」「首ながいね」とカメのもりびーいっちゃんと目が合うようにしゃがんで話しかけたり、生き物たちに話しかけている時の子ども達は不思議や発見でいっぱいようです。園庭に咲いている花や葉っぱを調べたり、押し花にしたり、色水にして色の違いを比べたりと様々な方法で思い思いに遊びが広がっています。

最近では水をじゃぶじゃぶ池に溜めて、魚釣りごっこや水遊びが始まりました。日に日に暑くなる5月、水遊びや泥遊びも本格的に始まりそうです。

“見てて！”

「先生見といてね」と鉄棒での前回りや縄跳びで何回跳べるか数えたりといぶき組の頃から身体を動かして遊ぶ楽しさも経験してきました。卒園した



子どもたちが楽しんでいたすもうや野球も引き継がれています。グローブとバットを握りしめ、野球のルールや約束事を子ども達で確認したり、順番をどうするか話あって遊びが進んでいます。時には「え～難しいからな…」「できないよ」と聞こえてくることもあります。いざやってみると何度も繰り返し挑戦する姿が見られます。園庭に出ると「先生竹馬持ってて」「見といてよ」とそれぞれが少しずつ向き合いながら楽しんでいます。自分の気持ちを伝えることも大切に、これからどんな『やってみたく』が出てくるか楽しみです。

“担任の思い”

新しいクラスになり、桜を見に夙川公園へ行ったことや御前浜に出かけました。桜の花びらが落ちる様子を見て「綺麗だね」と子ども同士で話した夙川公園、風を感じながら砂浜を勢いよく走り、水面を跳ぶ魚や砂浜で貝殻を見つけたり、木登りをした御前浜とそれぞれがやってみたくを保育者や友だちに伝えたい瞬間が様々な場面で見られました。園生活の中でも出来るようになったこと、上手い出来ないこと、頑張りたいたいと思うこと、毎日色々な思いや心境の変化が感じられます。やってみたくに夢中になり、継続して楽しむことができるように日々過ごしていきたいです。

日笠 加菜

～だいちぐみ～

ねらい：「身の回りのことを自身で行う」「挑戦してみたいことを見つける」

うた：「ドロップスのうた」「かぜはともだち」

楽しみにしていただいち組が始まりました。だいち組になり、お当番（カメ・魚のエサやり、花の水やり）やペアの友だちのお世話など毎日忙しい子どもたちですが、なんだか嬉しそうな表情の子ども達が多くいます。張り切る姿や奮闘する姿もあり、「どうしたらいいんだろうね」と話し合い、工夫しながら頑張っています。苦戦することもあります。お友達に思いが伝わる瞬間を見ていると微笑ましく思います。

～ずんずんずん、どんどこどん～

じゃがいもの苗を植えました。じゃがいもの種いもから出ている芽に興味津々の子ども達。芽には触らないようにしながら、じーっと観察していました。3つの畑に穴をあけ、種いもを植えた後、優しく土を掛けてあげ、水やりをしました。



「ずんずんずん、どんどこどん」とじゃがいもが元気に育つようにみんなでのおまじないを掛けました。この日から毎日水やりとおまじないをしています。水遊びで園庭に水が流れてくると、「じゃがいもがあぶない」と守る子どももいます。また、じゃがいもの看板も作りました。畑ごとのチームに分かれ、「どんな看板がいいかな」と話し合いました。じゃがいもの絵を描いたり、入らないでねというメッセージを書いたり、子どもたちが考え素敵な看板ができました。現在小さな芽が出てきました。「おおきくなってよ」と嬉しそうに教えてくれます。これから大きくなっていくじゃがいもを子どもたちと一緒に育て、見守っていきたいと思います。



～ひみつのじかん～

だいち組になってすぐ、みんなが目を輝かせ聞いてきたのは「もうお昼寝しないの」「ひみつのじかんするの」とお昼寝をしていなかっただいち組に憧れていた様子。4月の始めは、まだ身体を休める時間をとることを伝えると「あと何回寝るの」と楽しみに待ちきれない子ども達でした。

お昼寝がなくなりひみつのじかんが始まりました。「今日はなにをするの」と毎日楽しみにしています。ひみつのじかんでは、少人数でカードゲームや伝言ゲームをするなど友達との時間を過ごしたり、みんなで話し合いの時間を作ったりと、ゆっくり落ち着けるように過ごしています。この時間は他のお友達が寝ている時間なので、静かに過ごせるよう子どもたちで声を掛け合いながら楽しんでいます。先日はカプラをしました。友達と協力したり、一人で黙々と集中して取り組んだり真剣な表情の子どもたちでした。



“担任の思い”

だいち組でやりたいこと・行ってみたいところを話し合う時間を作ると、様々な意見が出てきました。その思いがこの1年でどれほど膨らみ、どれだけ実現できるのか私自身も楽しみです。感染症など心配事は今年もあるかと思いますが、“できないから我慢する”ではなく、この環境だからこそ“できること”を子どもたちと見つけていきたいと思います。

松岡 桃花

～一緒に行こう～

1日の生活の中で、だいち組はいぶき組のペアの子のお世話をしています。おもに園庭から帰る時、朝の集いに行く時、午睡後のおやつの時です。朝外で遊んでからお部屋に帰る時、だいち組の子はペアのいぶき組の友だちに「お片付けして、お集まりいくよ！」と声を掛けています。

ある時、いぶき組の友だちは、まだ遊びの続きをしたい様子で、お兄さん、お姉さんの声は聞こえていますが、遊んでいるその場でじっと居続けていました。テーブルにコップを並べて、コーヒーやジュースなどドリンク作りをしていたのです。言葉はなくてもまだ遊びたいという気持ちがだいちさんに伝わり、その気持ちはわかるけどどうしたらいいか戸惑っていました。何度も何度も「一緒に行こう」と伝えても、その場でじっと遊んでいるコップを見続け返事はありません。「まだ遊びたいの？」と聞くと頷きました。周りの他のペアは、お部屋に帰りはじめ園庭にいる友だちが少なくなってきました。それでもいぶきの友だちの側で待っていました。すると、だいちの子の思いが伝わったのかようやく片付け始めました。相手のことを思い、待つ優しさを感じた場面でした。



～異年齢でお散歩～

進級して早速、お散歩にでかけました。夙川に桜を見に行った時は、いぶき組とだいち組で手を繋いで、御前浜にいった時には、ひかり組とだいち組で手を繋いで行きました。「道路側はだいちだよ！」と歩きながら状況を見て、だいち組はすっといぶきとひかりの友だちが危なくないようにと手を繋ぎ変えていました。自分達がこれまでお兄さんお姉さんにしてもらった経験が、お散歩での気付き、思いやりとなっているようです。



“担任の思い”

新しいはまグループ・かぜグループの異年齢で過ごすことがあります。特に多いのは、ペアの友だちの子どもとの関わりです。だいち組は、幼児さんになったいぶき組の友だちにお兄さん、お姉さんとしてお世話したいという気持ちをもっています。しかし、「一緒に行こう」と一方的な思いだけでは、相手は振り向いてくれません。自分の事でいっばいはいぶき組の葛藤と、相手の事を思っただいち組の葛藤とそれぞれ悩んでいます。その葛藤の中で、相手のことを待つことや、信じることなど経験をしています。この小さい友だちに対する思いやりに、きっといぶき組、ひかり組の友だちは受け取り、嬉しい、ありがとうなどの気持ちをもっていることと思います。「ペアは、〇〇くん、〇〇ちゃん！」といぶき組の友だちは、自信をもって保育者に伝えています。生活や遊びの中で信頼関係を築き、異年齢ならではの関わりを大切に見守っていきたいです。

～保護者の方からのお話コーナー～

保育園に入ったばかりの頃はお姉ちゃんにべったりの甘えん坊だったのに、だいち組になった今では「おうちにいるより保育園でお友達と遊びたい！」と言うぐらい保育園が大好きです。あと一年もない保育園での生活、思いっきり体を動かして、笑って、心に残る思い出を沢山つくってほしいです。

だいち組 まゆさん

子どもの体調不良や臨時休園時には在宅勤務をすることがあります。お兄ちゃんが憧れの「だいち組」になり、急に「僕がしっかりしないと」という気持ちが芽生えてきました。弟がパソコンやマウスを触ろうとするのを守ってくれたり、けんかをしながらも絵本を読んであげたり、弟の興味のある事で遊んであげたり。弟が昼寝をすると、家のパソコンのエクセルを開いて、自由に文字入力をして“お仕事”をしています。とはいえ、やっぱり一緒にあそんで欲しいのが本音。16時の退勤時間が待ち遠しくてソワソワ。16時になった瞬間「野球しようぜ!!」と弟につめかけてきます。弟はお兄ちゃんと同じことができていますつもりで、打って、走塁して大騒ぎ。夜のおやすみトークの時に、お兄ちゃんに「お仕事中助けてくれてありがとう」と伝えると、「でもやっぱり遊んでほしいねんなー」とポツリ。時間がある時は全力で一緒に遊ぼうと改めて思い直した母でした。

つぼみ・だいち組 まどかさん

ひかりさんになること、5歳になることをずっと楽しみにしていた娘。5歳の誕生日の朝は、「おねえさんになったきがする!」と起きていました。毎日がキラキラしているようで、見ていて幸せな気持ちにさせてもらっています。

ひかり組 よしえさん

つぼみ組になり、少しずつお姉さんになってきている娘です。最近しっかりと喋るようになりました。キッズノートのお知らせでつぼみ組のお友達が写った写真を見せると、「これは〇〇ちゃん! すきなの!」とお友達全員の名前を教えてくださいました。これからも成長が楽しみです。

つぼみ組 りょうすけさん

「もうすぐいぶき組さんになるねん!」と毎日張り切っていたにもかかわらず、お兄ちゃんが卒園してから急に登園時にメソメソし始めた娘。一転、帰りは私が恥ずかしくなるくらいの大声で園歌や習ってきたお歌を楽しそうに歌いながら家路につきます。色んな感情で忙しそうですが、娘なりに毎日一生懸命な姿に成長を感じ、嬉しく思います。

いぶき組 まりなさん

☆お台所より☆

晴れ渡った空に、新緑の青葉を感じるすがすがしい季節になり、新年度からあっという間に一か月が経ちました。

新しい環境にも慣れ、厨房からは「先生おかわりー！！」と元気いっぱいの笑顔でおかわりをしてくれる子どもたちが増えてきました。

これからどんどん気温が上がり、季節の変わり目となるため、体調管理には十分注意して、元気いっぱい過ごしてほしいと思っています。

☆春が旬の食材☆

新玉ねぎ

水分が多い為、甘みがあるのが特徴です

☆ちょっとしたコツ☆

- 1) 皮を剥き、十字に切り目を入れる
- 2) やさしくラップし、電子レンジで6分ほど加熱する
- 3) かつお、ポン酢をかけて出来上がり

菜の花

独特の甘みがあり、茹でると

甘みを感じる事が出来ます。

かつお節で和えると苦みなく
食べる事ができます。

たけのこ

5月たけの子ご飯を作ります。
だいちさんには皮をむいたり
観察してもらう予定です。

春キャベツ

みずみずしく葉が柔らかいのが
特徴です。生のまま食べても
葉の甘みを感じられておすすめです。

～旬の食材を使った献立～



新じゃがを使ってカレーライスを作りました。

みんな大好きカレーライス、
元気いっぱいニコニコでおかわりも
沢山してくれました。

～メニュー紹介～

★三色丼★



★コロコロラスク★





★お願い★

- 感染症での休園・クラス閉鎖について
4月より園児に感染症が出た場合、クラスまたは、フロアごとでクラス閉鎖となります。クラス閉鎖になった場合やご家族で陽性の方がいらした場合は家庭保育で保育料（乳児クラスのみ）の返還はありますが該当クラス以外のお休みは保育料の返還はありません。ご了承ください。
- 5月14日（土）つぼみ・幼児クラスは今年度初めてオンライン保護者会を開催します。大切なお子様の様子・今年の保育の進め方をお伝えいたします。是非、ご参加ください。
- 5月28日（土）はめばえ・ふたばの親子で遊ぼうを開催します。小グループでの集いとなりますのでご家族お一人とお子様でご参加ください。乳児クラスの保育の進め方をお伝えします。
- 5月16日（月）より武庫川女子大・心理学科の学生さん1名が実習に来られます。

- 柔らかな春の日差しから日差しがきつくなってきました。園庭ではテントを張り、紫外線対策を行いながら夏の遊びを進めていきます。子どもたちにとっては待ちに待った水・泥んこあそびで毎日たっぷり遊んでいきます。つぼみクラス以上は体を拭くタオルが毎日必要となります。着替えを多めにご用意いただくと共に持ち物に名前があるかの確認をお願いします。
- 感染症の状況によって登降園の際に園舎に入館いただいたり、玄関先であったり変更することが多くなります。また、緊急時にはよいこネットですできるだけ早く情報をお知らせしています。ラインではなくメールでのやり取りになりますのでメールのチェックが必ずできるよう気を付けてください。
- 園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。やめてください。また、駐車場利用は短時間をお願いします。

こんなことしたよ♪

4月1日は入園式・進級式を行いました。めばえ組7人、ふたば組6人、幼児1人のあわせて14人の新しいお友達がかえて保育園の仲間に加わりました。

ふたば組～だいち組の子ども達は新しいクラスや1つ大きくなったことを友だちや先生と一緒に喜びながら過ごしています。



5月1日よりめばえぐみに新しいお友達が入園されめばえぐみは8名となりました。また、育児休暇を終え、宝田聖美保育教諭が復帰いたします。重ねてどうぞよろしくお願いたします。



《5月の予定》

- 10日（火）ひかり・だいちバス遠足
※ひかり・だいちはよいこネットで詳細をお知らせしています。ご確認をお願いします。いぶきぐみの昼食は園で用意します。
- 14日（土）つぼみ・いぶき・ひかり・だいち
オンライン保護者会
※めばえ・ふたば組のお子様は家庭保育のご協力をお願いします。
- 23日（月）誕生日会
- 28日（土）めばえ・ふたば組かえであそぼう
※つぼみ～だいち組のお子様は家庭保育のご協力をお願いします。
- *12・19・26（木）体操
- *16（月）30（月）絵画

《6月の予定》

- 18日（土）同園会
※家庭保育のご協力をお願いします。

内科・耳鼻科・眼科の健診は予定が決まり次第お知らせします。

- *7・8日（火・水）幼児クラス尿検査
★事前に容器・手紙を配布します。